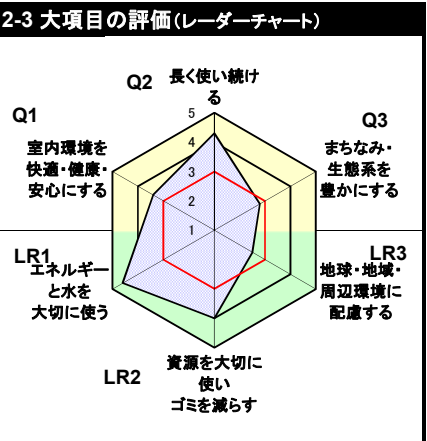
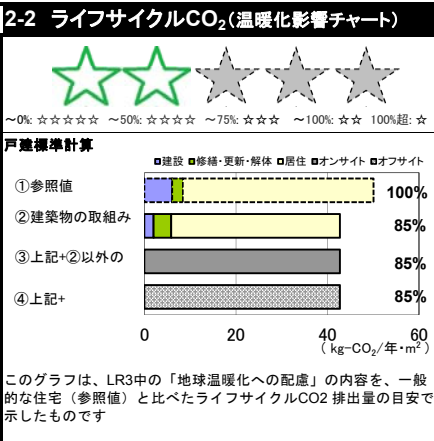
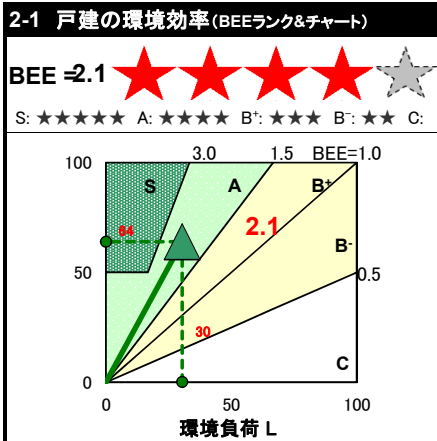
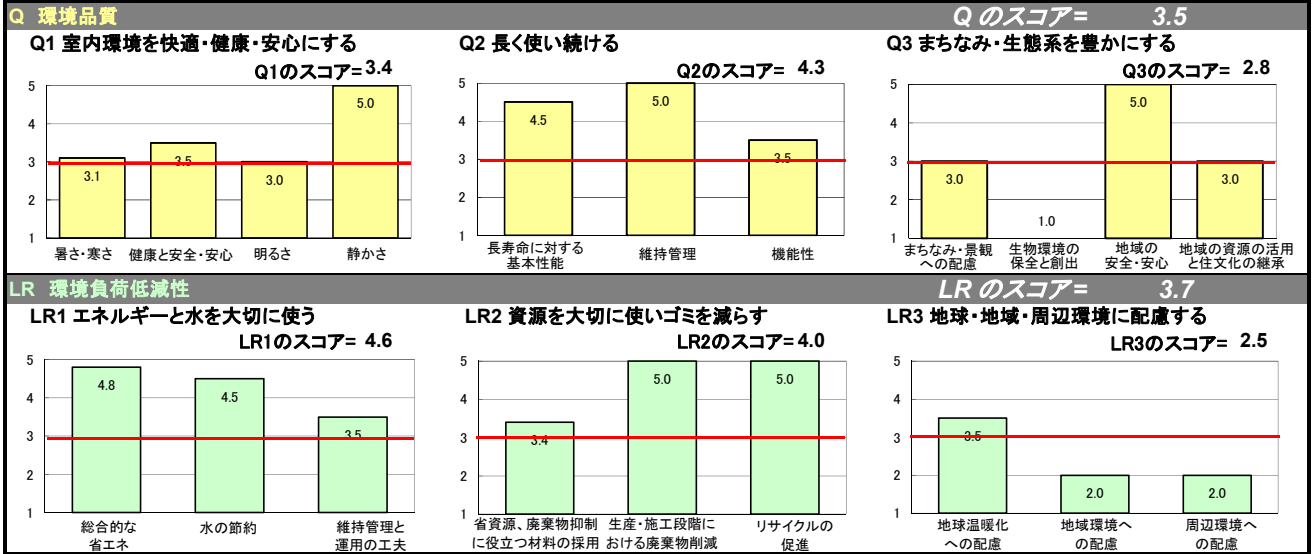




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	馬場429② No.2	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	外観パース等
竣工年月	2019年4月	竣工	持ち込み家電等	仮	
建設地	神奈川県横浜市磯区馬場四丁目219番5号の一部	〈備考〉	外構の仕様	一部確定	
用途地域	第一種低層住居専用地域		確定		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造/在来工法	確定			
階数	地上2階建て				
敷地面積	120 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2019年7月1日		
建築面積	53 m <sup>2</sup>	作成者	和氣 隼人		
延床面積	104 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月1日		
世帯人数	4	確認者	和氣 隼人		



### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
耐震等級3、省エネルギー等級4を満たして、環境性能を高めている。また、長期優良住宅の認定も取得し、将来にわたり安心してお住まいいただける住宅としている。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 全てのガラス面に遮熱 LOW-Eガラスを採用し、断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量等級5を取得することによって、快適に過ごせるよう、配慮している。また、玄関2ロック、窓サッシ補助錠付きとすることで、安心して過ごせるよう、配慮している。	Q2 長く使い続ける 劣化等級3を満たすよう、耐用年数の長い建材を選定している。また、維持管理のしやすいように外配管設計とし、定期的メンテナンスを行えるよう、配慮している。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 建物の高さ、形状、色彩を統一し、街並みの調和を図っている。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 節湯型機器を台所、浴室に、食器洗浄機を台所に設置し、トイレの便器に節水型便器を使用することで、省エネに配慮している。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 外装、内装、外構の一部にリユース材を使用している。また、パワースタイル工法を採用することで、プレカット時のロスを軽減している。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

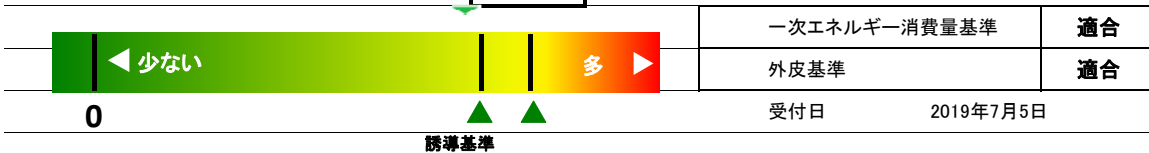
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **馬場429② No.2**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **4**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 15 %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①BEIが0.90以下。
- ②電気便座 多段階評価3つ星以上、ガスコンロ省エネ基準達成率100%以上
- ③取り扱い説明書+かしこい住まい方ガイドを説明する

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

④省エネルギー等級4を取得・全てのガラス面に遮熱LOW-Eガラスを採用(日射侵入率0.40)

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている・玄関2ロック+窓サッシ補助錠付としている。

⑤玄関2ロック+窓サッシ補助錠付としている

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥主要な居室において、二方向に開口部がある。または一方向開口でも通風・排除を促進する取組みがなされている。

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **5**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧劣化対策等級3を満たしている・サイディング金物工法を採用。耐用年数は約40年

コロニアル葺きとしています。耐用年数30年・耐火等級(開口部以外)等級3を満たしている

長期優良住宅の定期点検計画、住宅履歴システム(プロパティオン)登録

⑨敷地内通路500mm以上確保、境界部を軽量フェンス(添付資料参照)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

⑩建物高さ、形状、色彩を統一して全体調和に配慮している。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-048



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
馬場429② No.2

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.5</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>3.4</b>
<b>1 暑さ・寒さ</b>		3.1	0.50	3.1
1.1 基本性能		4.8	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	4.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		2.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		1.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		1.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		1.0	1.00	-
<b>2 健康と安全・安心</b>		3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	3.0	0.25	-
<b>3 明るさ</b>		3.0	0.10	3.0
3.1 屋光の利用		3.0	1.00	-
<b>4 静かさ</b>		5.0	0.10	5.0
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>4.3</b>
<b>1 長寿命に対する基本性能</b>		4.5	0.50	4.5
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.6	0.20	-
1 火災に耐える構造		4.0	0.65	-
2 火災の早期感知		3.0	0.35	-
<b>2 維持管理</b>		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
<b>3 機能性</b>		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		4.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>2.8</b>
<b>1 まちなみ・景観への配慮</b>	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
10 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.30	3.0
<b>2 生物環境の創出</b>		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
11 生物環境の創出		1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
11 生物環境の創出		1.0	0.35	-
<b>3 地域の安全・安心</b>	防災	5.0	0.20	5.0
9 地域の安全・安心		5.0	0.20	5.0
<b>4 地域の資源の活用と住文化の継承</b>		3.0	0.20	3.0
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>3.8</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.7</b>
<b>1 総合的な省エネ</b>		4.9	0.75	4.9
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1 建物の工夫		5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	4.0	0.10	-
2 設備の性能		4.0	0.10	-
<b>2 水の節約</b>		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
<b>3 維持管理と運用の工夫</b>		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
3 維持管理と運用		4.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3 維持管理と運用		3.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>4.0</b>
<b>1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用</b>		3.4	0.60	3.4
<b>1.1 構造躯体</b>		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		5.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
<b>2 生産・施工段階における廃棄物削減</b>		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
<b>3 リサイクルの促進</b>		5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供		5.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>2.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		3.6	0.33	3.6
<b>2 地域環境への配慮</b>		2.0	0.33	2.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		1.0	0.50	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-